

学習内容報告書（広島県三次市立三和中学校）

学校名	三次市立三和中学校
授業者	西森 千博 他（全学年教職員）

1. 単元計画

1-1. 単元名

うみ・やまサミット2019～海の学びと海洋体験～

1-2. 学年

第3学年（行事等は、全学年で実施）

1-3. 教科

総合的な学習の時間、特別活動（学活・学校行事）

1-4. 単元の概要

本単元では、瀬戸内の海洋学習をテーマとして、海洋体験、海洋生物についての学習、食文化や歴史についての学習や体験、及び海と山の地域防災について、次のように単元を構成している。

- (1) 沖縄修学旅行における海洋体験【第3学年】
- (2) 宮島水族館での海洋生物の学習（海洋生物の観察）【全校生徒】
- (3) うみ・やまサミット2019～海の学びと海洋体験～【全校生徒】



1-5. 単元設定の理由・ねらい

【単元設定の理由】

本校は、山に囲まれた小規模校であり、いつも決まった人間関係の中で生活している。昨年度「うみ・やまサミット2018」として、呉市立蒲刈中学校を本校へ招き、本校の第3学年（現高校1年生）が、山の学校と海の学校として交流している。

今年度は、より深い学びとなるよう、「うみ・やまサミット2019～海の学びと海洋体験～」を計画し、第3学年を中心に海洋学習を進め、全校で呉市立蒲刈中学校と交流できるように設定した。特に、海洋体験を取り入れ、実際に海での体験や文化について学ぶとともに、防災の意識を高められるようにした。

【ねらい】

- (1) 海の学校（蒲刈中）と山の学校（三和中）の取組や課題を交流し、それぞれの地域の特色や防災について知る。【知識・技能】
- (2) 海や山の地域を素材として、地域の良さや課題を見だし、情報を整理・分析してまとめたことを発信することができる。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) ふるさとを大切に思う気持ちを育て、他者とのかかわりを通してコミュニケーション力や表現力を育てる。【学びに向かう力・人間性等】

1-6. 育みたい資質や能力、態度

本単元を通して、次の資質・能力を身につけさせたいと考えている。

- (1) 体験学習や交流学习を通して、自分たちの住む「広島県」について知り、郷土を愛する心を育て、地域の特色や課題を見つけることができる力
- (2) 海での生活や文化を知ることで、地域の良さや課題を見だし、情報を整理・分析し、まとめたことを発信することができる力

1-7. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導／主な評価 外部連携／使用教材等
2	○海洋体験に向けて安全確認・内容確認	【教師の指導】 ○体験内容の指導及び安全面における指導
2	○海洋体験の実施 (1) シーカヤック体験 (2) ドルフィン体験 (生態観察・イルカタッチ・環境学習)	【外部連携】 ○講師による講話 ○現地インストラクターによる説明 
1	○海洋体験のふり返り (1) 自己評価 (2) グループ学習（自己評価の交流）	【評価】 ○体験内容を整理し、まとめた内容をグループごとに発表することができる。
1	○海洋生物について (1) 世界遺産宮島について (2) 宮島水族館における観察の視点 (3) 特別展の内容の紹介	【教師の指導】 ○世界遺産の魅力と宮島水族館についての説明 【使用教材等】 ○宮島水族館のホームページの活用
1	○海洋生物の観察 (1) 特別展での体験 (2) イベントの見学と観察 (3) 瀬戸内海の海洋生物について調べる	【教師の指導】 ○宮島水族館での海洋生物の観察と、特別展におけるふれあいコーナーで体験させる。 
1	○うみ・やまサミットの準備① (1) 昨年度の取組の説明 (2) 今年度の内容の確認 (3) 海の学校と山の学校についての比較	【教師の指導】 ○昨年度の内容を説明し、今年度の活動を考えさせる。
3	○うみ・やまサミットの準備② (1) 海洋体験について (2) 学校紹介プレゼンの作成	【評価】 ○沖縄学習を生かし、体験における注意点を考えることができる。 

2	<p>○うみ・やまサミットの準備③</p> <p>(1) 海洋体験について</p> <p>(2) 防災について</p> <p>(3) 学校紹介プレゼンの確認</p>	<p>【教師の指導】</p> <p>○西日本豪雨災害についての説明</p> <p>【評価】</p> <p>○三和町の特徴や課題を整理・分析し、プレゼンテーションで表現することができる。</p>
2	<p>○うみ・やまサミット2019【I】</p> <p>(1) ふるさと紹介</p> <p>(2) 防災について考えよう</p> 	<p>【外部連携】</p> <p>○呉市立蒲刈中学校と連携</p> <p>【評価】</p> <p>○発表を聞き、特徴を比較して三和町について考えることができる。</p> 
1	<p>○うみ・やまサミット2019【II】</p> <p>(1) 交流学习</p> <p>(2) 海の食を知ろう</p> 	<p>【外部連携】</p> <p>○呉市立蒲刈中学校と連携</p> <p>○県民の浜・株式会社蒲刈物産と連携</p> 
2	<p>○うみ・やまサミット2019【III】</p> <p>(1) 海の文化を知ろう</p> <p>(2) 海洋体験</p> 	<p>【外部連携】</p> <p>○呉市立蒲刈中学校と連携</p> <p>○県民の浜・株式会社蒲刈物産と連携</p> <p>【評価】</p> <p>○蒲刈中の生徒と協働して藻塩づくりやカヌー体験をすることができる。</p> 
1	<p>○うみ・やまサミットのふり振り返り</p>	<p>【評価】</p> <p>○地域の良さや課題をまとめることができる。</p>
4	<p>○海洋体験のまとめ</p>	<p>【評価】</p> <p>○学習の内容をまとめ、発表することができる。</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 23 時間中の 16, 17 時間目

2-2. 本時の目標

海洋体験を通して、海の文化や食の文化について考えよう。

2-3. 本時の展開

主な学習活動／反応	教師の指導・支援／評価の視点（方法）
<p>1 グループ編成と体験内容の確認</p> <p>(1) 体験内容の確認</p> <p style="padding-left: 20px;">A・B→①藻塩づくり ②シーカヤック</p> <p style="padding-left: 20px;">C・D→①シーカヤック ②藻塩づくり</p> <p>(2) 諸注意と体験会場へ移動</p>	<p>【指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全面に関する説明・諸注意 ○グループリーダーへの指導
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A・Bグループについて</p> <p>2 藻塩づくり体験</p> <p>(1) 藻塩づくりについての説明</p>  <p>(2) 藻塩づくり体験</p>  <p>(3) 古代製塩遺跡復元展示館の見学</p> 	<p>【指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明の補足とグループへの個別指導 ○個々の生徒への指導 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験内容を確認しながら聞くことができる。 (行動観察) <p>【指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケガ，熱中症への配慮 ○仲間と協力できるよう支援 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明されたことを実行し，積極的に体験活動をする ことができる。(行動観察) <p>【指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設・展示に関する補足説明 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海の食文化，塩作りについて興味・関心をもって 調べることができる。(行動観察)

3 シーカヤック体験

(1) シーカヤック体験についての講習



(2) シーカヤック体験



(3) シーカヤックレース



【指導・支援】

- インストラクターの説明補助
- 個別指導
- グループごとに安全面の諸注意

【評価】

- 体験における安全面を意識して説明を聞き，講習を受けることができる。(行動観察)

【指導・支援】

- グループごとに担当教員を決定し，安全面の配慮
- 生徒の行動観察及び個別指導

【評価】

- 講習内容を活用し，シーカヤックの体験を行うことができる。(行動観察)

【指導・支援】

- グループごとに担当教員を決定し，安全面の配慮
- 生徒の行動観察及び個別指導

【評価】

- グループで作戦等を考え，体験を生かした活動を行うことができる。(行動観察・グループ活動)

4 全体交流

(1) 感想の交流

(2) まとめ



【指導・支援】

- 学習内容・体験内容のふり返りと指導

【評価】

- 体験活動をふり返り，発表することができる。(行動観察・グループ活動)

3. 今回の学習の自己評価

うみ・やまサミット2年目を迎え、実際に海の学校（呉市立蒲刈中学校）を訪問しての交流、県民の浜における海洋体験を行うことで、普段交流できない学校との学びや体験できない海の学びを行うことができた。また、第3学年を中心に、沖縄修学旅行での海洋体験や全校宮島校外学習（宮島水族館における海洋生物学習）を事前に行うことで、第3学年がリーダーとしての役割を果たし、協働性の育成にもつながった。

生徒の感想からも、海の学校と交流することで、地元の良さや課題を再確認するだけでなく、新たな発見にもつながったという声も聞かれ、単元を通して深い学びにつながったと考えられる。

4. 今後の課題

今年度の活動では、海の学校との交流や海洋体験は充実したものになったが、環境問題に関する学びは十分ではなかった。来年度以降は、海洋体験や海洋生物に関する学びの更なる充実を図るとともに、環境問題を取り上げ、レポート作成や活動報告などのパフォーマンス評価にも取組を広げていきたい。

5. 本学習内容報告書の活用にあたっての留意点

特になし